

# 中部で活躍する企業・大学のトップが明日

質素で堅実、独自の経営哲学を持つこの中部が  
「外から見た中部」「内から見た中部」、



We Love CHUBU.は9月25日・26日の二日間  
24人のトップからのメッセージを掲載しています。



【野村総合研究所】

コンサルティング事業本部  
名古屋オフィス代表 上席コンサルタント

**奥田 誠**  
Makoto Okuda

1962年愛知県刈谷市生まれ。90年野村総合研究所入社。専門は営業力強化による経営改革、チャネル戦略、マーケティング戦略。2003年から現職。現在は、NFIの名古屋代表として中部地域の発展に向けて奔走中。



【中駒産業】

代表取締役社長

**中島 実**  
Minoru Nakashima

創業100周年を迎え、ビル経営・管理、注文住宅、分譲住宅など多岐に渡る不動産事業を推進。名古屋北ロータリークラブ、地区米山奨学委員会副委員長として世界中の支援活動の傍ら、スキー連盟指導員としても活躍中。



【エイチ・アイ・エス】

中部営業本部 本部長

**市原伸悟**  
Shingo Ichihara

88年株式会社エイチ・アイ・エス関東営業本部入社。新宿本社内支店に配属。関東営業本部仕入れマーケティング課統括、関東営業本部法人・団体営業部部長を経て、2007年から現職。



【野村不動産】

名古屋支店長

**問田和宏**  
Kazuhiro Toida

1965年千葉県生まれ。89年野村不動産入社。06年名古屋支店赴任。07年より現職。



【本間ゴルフ】

営業第3部西1エリアマネージャー

**香田雅浩**  
Masahiro Koda

1960年京都市生まれ。京都学園大経営学部卒業後、82年本間ゴルフ入社。京都十条店長などを歴任し、2009年4月より現職。



【ユウキ食品】

名古屋営業 所長

**三國秀一**  
Syuichi Mikuni

1969年滋賀県生まれ。94年有紀食品(現ユウキ食品)に入社し、名古屋営業所に配属。2000年6月より現職。趣味は、スポーツ観戦と音楽活動。

## 10月にフォーラム開催 中部の企業から全国へ 製造業の成長戦略を

中部地方は製造業への依存度が大きく、世界不況の影響を大きく受けました。先進国の需要が減り、コスト構造の安い新興国が台頭する中、日本の製造業がどう生き残るか、中部地方が抱える課題は、日本の産業全体の課題でもあります。

既存の顧客や既存の技術に固執せず、世界のマーケットを見れば、新エネルギーやロボット技術、水や農業に

関連する技術など、日本が世界に勝る領域はいっぱいあります。そうした分野でどれだけイノベーションを起こせるかが、製造業の生き残りの鍵となるのではないのでしょうか。

企画・制作/中日新聞広告局

## 今年で創業から百周年 産業集積と技術持つ中部 顧客ニーズに合う住宅を

祖父の中島駒太郎が創業して今年で百周年です。三代目の私は愛知県一宮市生まれ。昨年、不景気で解雇され、住居を失った人のために部屋七十戸を半額の家賃で貸し出すなど、地域に根付くための活動を続けています。

中部地域には堅実経営の企業が多く、伝統文化を大切にし、人間関係を重んじるまじめな人が多いと思います。

海外進出など事業の拡大は簡単ですが、逆に、引くことは難しい。地に足の着いた経営を続けていきたいと思います。

## 海外旅行にも付加価値を 厳しい中部のお客様の目 世界をもっと身近に

初めは驚きましたが、喫茶店のモーニングにもこのエリアの特性がでているかと思えます。中部地域では、ひとつの旅行にもいろいろな付加価値をつけなければ、ご利用頂けません。たとえば、女性スタッフが企画した女性のための旅「Gofor美(ごほうび)」シリーズでは、こだわりのホテルに泊まりこだわりの食事が付き、さらに女性にはうれしいスパなどが付いた内容で好評頂いて

おります。内容が良い商品であれば、逆に高額商品でも「お値打ち」であることを理解して頂きご利用頂いております。また、帰国後お客様から厳しい意見を頂戴することもありますが、お客様の生の声は今後に反映していけますのでありがたいことだと思っております。商品を見る厳しさは国内で一番かもしれません。

今はバリ島とハイナン島を勧めています。特にハイナン島は、世界的にも注目されている新しいビーチリゾートです。中部からもどんどんいろいろな所へ行ってみる新しい発見をしてみたいですね。

## 「PROUD」分譲に全力 魅力は居住性とデザイン 町並みづくりにも貢献を

分譲マンションのモデルルームにお越しいただく来場者数は、最も悪かった昨年と比べると、特に今年四月ごろからお客さまのメインにも変化が見られ、来場者も増えています。

お蔭様で、分譲マンションシリーズ「PROUD(プロウド)」には、名古屋市内をはじめ東海地域で約一万六千人に会員登録をい

ただいておりますが、お客さまからの認知度についてはまだこれからというところです。

参りたいと考えております。

## モーニング文化に好感 ゴルフ環境整った中部 20歳代の来店も増加

名古屋での勤務は初めてですが、父の会社の都合で小学五年から高校卒業まで岐阜県で過ごしたため、こちらの味噌やおでんの味付けにはなじみがあります。名古屋といえば喫茶店の朝のモーニングサービスが文化になっていますが、お年寄りになっても外へ出掛けて積極的に談笑や交流をする場にもなっていて非常に良いと感じています。

当社の「西エリア」は、東海三県と浜松市の六店舗と名古屋営業所を管轄しています。中部地方にはゴルフ場や練習場がたくさんあるのに加え、高速道路などの交通インフラの整備が進んでいて、ゴルフをする環境に恵まれています。最近では管内の客層も二極化していて、五十〜六十代のシニアだけでなく、これからコースデビューしようという二十代前後の来店も増えて

います。

四月に赴任した直後は、景気低迷も影響し、クラブの試し打ちをされたお客様がすぐにお買い求めになることが少なかったのですが、八月ごろから購入されるケースも増え、明るさが見えてきました。クラブの修理といったアフターサービスにも力を入れていまして、ゴルフを楽しむお手伝いができればと思います。

## 開設時から売り上げ倍増 名古屋めしにも使える商材で 中部の全国発信に貢献を

名古屋営業所は東海三県と静岡、北陸三県を担当エリアで、私は営業所開設から三年後の一九九四年から勤務しています。当時は今はインターネットが普及しておらず、当社が得意としている中華料理の調味料についてお客様の専門知識もあまりなかったため、取引先がほとんど増えなかった。中部は保守的な土地柄で、当初

はなかなか受け入れてもらえませんでした。が、いったん関係ができて長く付き合っていたら、面もありません。基本的に転勤をさせず、一企業を長く担当させるという現社長の方針もあり、今ではこの地域のお客様とのコミニケーションも深まっています。

世界の商品は「名古屋めし」にも使え注目を集めています。例えば、中部には赤みその文化がありますよね。中華料理の調味料、甜面醬(テンメンジャン)は、土手煮や味噌カツのたれに似た風味の甘いものなので、この地域では特に人気があります。これからは名古屋に世界の味を紹介していく企業として、世界の商材と名古屋めしの融合を提案することにも、新しい味への挑戦をお手伝いしていきます。